

経済学部

経済学部では、ディプロマ・ポリシー（DP：学位授与方針）に示した資質・能力を総合的に身につけている学生を育成するために、以下のようにカリキュラムを編成します。

【教育内容】

経済学に関する初歩的な知識と大学での学習方法を身につけるため、各学科の特徴を反映した入門科目や少人数クラスによる導入教育を初年次に行います。また、専門教育のための基礎として、経済学の初等理論に関する教育を早い段階で行います。

専門教育科目に関しては、履修モデルとして、経済学科では3つのコース、産業経済学科では2つのプログラムを準備し、それぞれの特色を組み込んだ科目群を配置しています。

意欲を持った学生がグローバル化に対応できる能力を身につけるため、専門教育科目として海外研究者などによる講義・演習も配置します。

【教育方法】

順次性を重視した演習科目を2年次から4年次にわたって配置し、少人数教育を実施します。担当教員、学生相互で協力しながら、自らが選択した課題に対する分析・考察を行い、論文などを執筆することで、課題探究・解決能力を身につけさせます。

講義科目では、専任教員とともにスチューデント・アシスタントを配置し、経済学の理論分野の学習支援体制を整え、学生の自主学習をサポートします。

専門教育科目の中に、実社会での経験豊富な社会人による講義科目などを組み込み、社会において自己が果たすべき役割を担い、市民として責任ある行動をとる姿勢を身につけさせます。

【共通教育】

共通教育のCPに関しては別に定める。

共通教育に関するCPをもって学部CPを構成する。